

北信濃里山通信 vol.23

2016年2月11日発行

巻頭言 「オオルリシジミ生息地の環境整備：継続は力」

三井彰

「北信濃の里山を保全活用する会」として、2011年度から飯山市のオオルリシジミの保全活動の取り組みが行われ、5年が経過しました。この間、活動が継続されたことにより毎年生息地でオオルリシジミが発生し、観察会で一般の参加者がこの「幸せを呼ぶ青い蝶」を見ることができ、喜んでいただけたことは保全活動の大きな成果であったと思います。今後もオオルリシジミの観察会が開催できるよう生息地の保全、特に環境整備活動が大切であることを強く感じます。生息地の環境が大きく変化したり、失われてしまうと復元は難しく、保全のための環境整備活動は継続して行わなければ意味がありません。

環境整備は草原環境の維持で、主に灌木の刈り払いです。地道な作業で人手が必要です。

2015年、初回の環境整備は5月30日に8名が参加して行われましたが、まとまった人数で作業面積も拡大。参加者の一人から「ハーフマラソンよりもシンドイ・・・」との声もありましたが、生息地上部まで食草のクララを残してきれいになり、やはりマンパワー・数は力です。

以降は、私と会員の坪井さん、地域おこし協力隊員の矢内さん（本当に助かります！）を主にパトロールを兼ねて草刈りを行いました。が・・・、裸地だった所にアカマツやシラカバ、ヤナギ、ニセアカシヤ、ウツギ類が年々繁殖し、低木だった樹木が人の背丈を越すありさま。



環境整備後の生息地(2015.6.19)

草ではススキにクズ・・・ススキは秋に刈り取らないので雪で倒伏、その繰り返しで地面は厚いススキの層に覆われる。クズの蔓もクララに巻き付き成長を妨げている状況・・・。それから、外来雑草のハルザキヤマガラシ、セイタカアワダチソウ、ワルナスビなども見られるようになり、今後の拡大が心配されます。環境が変わらないうちに、手を打つ必要があることを痛感しています。

2016年は雪解け後、クララが大きくなならないうちに集中的に低木を中心とした刈り取りを計画したいと思います。

少人数では限界がありますので、会員のみなさまには是非とも動員協力をお願いします。

オオルリシジミ保護と草原の保全活用をあきらめることなく・・・「継続は力」です。

お知らせ

「定期総会」と「冬の野鳥観察会」の開催

当会の2015年度事業実績の承認と2016年度事業計画を協議いただくため、以下のとおり3月5日（土）に「定期総会」を開催します。本年も昨年に引き続き、地域の方々と連携を深めながら、オオルリシジミの保全活動のほか、生息地のカヤ場利用による草原の保全活用、ブナをはじめ森林の地域資源としての利用など、幅広い活動を行っていきたいと考えます。

会員のみなさんからも、御要望・意見をお寄せください。

総会終了後は、午後1時から、飯山市蓮の千曲川河川敷（古牧橋周辺）で冬の野鳥観察会を行います。講師には当会会員でもある丸山和麻さん、池田淳夫さんをお願いし、北信濃で見られる野鳥について解説いただきます。

飯山市内の千曲川流域には、渡り鳥のコハクチョウやガン・カモ類（そろそろ北へ旅立つ頃？）、雌雄のつがいが目立つオシドリ、魚を狩るカワセミやヤマセミ、猛禽のハヤブサなどが生息しており楽しめるかと思えます。是非、御参加ください。

1 開催期日 平成28年3月5日（土）

2 場所、日程

(1)「北信濃の里山を保全する会 定期総会」

会場：飯山市文化交流館「なちゅら」多目的ルーム2（JR飯山駅から北へ約300m）

10:30～ 受付

11:00～ 開会、あいさつ

議事（当年度事業報告・収支決算、次年度事業計画・収支予算など）

意見交換など

12:00 閉会

(2)「冬の野鳥観察会」

集合場所：古牧橋（飯山側の東：右図参照）

12:40～ 受付

13:00～ 開会、飯山で見られる野鳥の解説

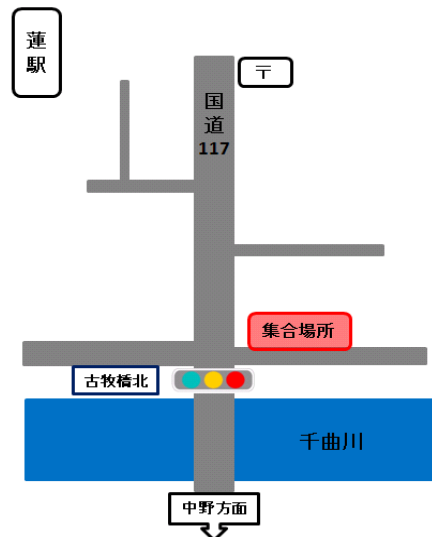
13:30～ 探鳥と観察

14:30 閉会

持ち物など

防寒対策、山歩き（積雪に信じ長靴）に適した服装でお越しください。必要に応じ、双眼鏡やカメラなど持参。中止すべきような悪天候が予想される場合は、前日夕方までに連絡します。

参加を希望される方は、飯山市公民館・飯山市教育委員会生涯学習課（TEL：0269-62-3342）へ2月29日までに申し込んでください。



コハクチョウ、マガモ、オシドリ（佐藤平太郎さん撮影）

活動報告など

・「2015 カヤ刈りワーキング」とオオルリシジミ生息地環境整備

昨秋の戸狩スキー場・とんだいらグレンデでの「カヤ刈りワーキング」、当初11月14日の予定でしたが、雨の悪天候のため11月22日に延期して実施しました。例年、この時期は降雪など天候の状況が心配されますが、カヤ刈り当日は好天で暖かく、ススキ（カヤ）も良好な状態で枯れあがり、刈り取り・結束作業もはかどりました。

講師として参加された茅葺き職人・「小谷屋根」の松澤さんからは前年採取したカヤの利用状況（北竜湖資料館の屋根修復）をお話しされ、今後の活動も期待しているとのこと。カヤ採取では、刈り取りや束ね方、トラックへの積み込みなどを指導いただきました。やはり、プロのカマさばきは見事です。

また、井田会長の教え子でもある信州大学の学生さんにも参加いただき感謝、人手が必要な作業ですので助かりました。



カヤは翌春以降に茅葺き屋根の材料として使われますが、カヤが曲がらないようにまっすぐに立て、カビなどが生えないようによく乾燥して保管することが重要です。今回採取したカヤは前年の反省（屋内で保管していたため乾燥が不十分・・・）を考慮し、風通しの良い静間地区の荒船農村公園の炭焼き施設に保管させていただいています。5月頃に運び出しと出荷作業を予定しています。

当地でのカヤ刈りは2011年から始まり今回で5年目、本年度は前年採取したカヤでようやく収入に結びつけることができました。今後、当会の活動のための財源としても、カヤ＝草原の活用事業を確立できればと考えます。



カヤ刈り後の現地で学生さんと



カヤの保管

続いて、翌日の11月23日にはオオルリシジミ生息地の環境整備とカヤ刈りを実施。監視カメラや看板、保護区ロープの撤収作業は事前に三井さん、坪井さん、矢内さんに行っていたが、この日、まずは生息地に至る道をふさいでいる倒木の撤去作業を行いました。生息地内の道は複数ありますが、人手が入らず、廃道になっている箇所もあり、車が通行できるよう、今後整備が必要です。

大きな倒木2本をチェーンソーで切り分けて撤去。

少人数では難しい作業ですが、人が集まったこの日一つの観察道の整備ができました。



倒木の撤去作業

生息地の観察道整備の後は、ここでもカヤの採取を実施。生息地の上段はススキが繁茂、オオルリシジミ食草のクララを圧倒するような状況です。また、地上に残ったススキの大量の枯れ葉はクララの発芽やその後の生長にも影響すると思われ、ススキをカヤとして持ち出すことはオオルリシジミ保全のためにも有効と考えられます。この日は一部のカヤの採取にとどまりましたが、生息地には広くススキが自生し、今後カヤの採取量を増やしながらかヤの保全活動を本格化させたいところです。



生息地からカヤの運び出し

カヤ刈りの際、気になったのは外来雑草の「ワルナスビ」がかなり生えていたこと。1.5cmほどの丸い実は黄色く色づき、中には種があり、このまま放置すると生息地に拡大する恐れがあり、対策が必要になるかもしれないと危惧しています（右写真：花崎さん提供）。



ワルナスビの実

生息地には巻頭言でも触れられましたが、他にもハルザキヤマガラシやセイタカアワダチソウ等問題となりそうな雑草があり、これらの生態や環境への影響などについては、またの機会に詳しく触れたいと思います。

・鍋倉山茶屋池周辺での「ブナの実拾い」

11月3日、「信州大学ブナの実活用プロジェクト：ブナプロ」の一環として、井田会長はじめ教育学部の教員・学生さんや長野県シニア大学のおばちゃん達を主にブナの実拾いが行われました。当日の鍋倉山は小雨（ふもとは晴れていたのに・・・）、霧の中での作業で、能率が悪く目標の10kgにはやや届きませんでした。これで「ブナの実ようかん」の製造分は確保できました。

「ブナの実ようかん」は、去年の定期総会でも紹介されましたが、いよいよ商品化され、3月14日の北陸新幹線飯山駅開業1周年にあわせ販売を開始する予定です。値段はひとつ500円（税抜き）、飯山市内各所と通販サイト「飯山謹製堂」で販売とのことですので、宣伝ともどもお買い上げもよろしく。



ブナの実拾い：地道な作業です

・飯山産オオルリシジミの系統保存

飯山産のオオルリシジミですが、安曇野市の丸山潔さん宅で屋内交配飼育により系統保存が行われています。昨年度に野生個体の血統も入れ、本年度は交配・飼育も順調で100頭あまりの蛹が得られました。このうち30頭ほどを系統保存用に回し、残りを5月に戸狩地区で予定している生息域外保全の放蝶などに使う予定です。

編集後記

今冬は著しい暖冬少雪傾向で、11月は暖かく、カヤ刈りには好都合でしたが、1月でも地面が見えている状況は、土中で越冬している生物への影響や春の田んぼ用水などの水不足も心配されるところです。ともあれ、春はもうすぐで、また新年度の活動が始まります。人的労力あつての里山保全ですので、あらためて協力をお願いいたします。

発行者：北信濃の里山を保全活用する会 会長 井田秀行
事務局：〒389-2253 飯山市大字飯山1436-1
飯山市公民館内
TEL：0269-62-3342 FAX：0269-62-5940
E-mail：kouminkan@city.iiyama.nagano.jp
編集者・事務局長：福本匡志